

- J. Roy. Meteor. Soc.*, 95, 758-765.
 ——— and R. E. Britter, 1980: A laboratory model of an atmospheric mesofront. *Quart J. Roy. Meteor. Soc.*, 106, 485-500.
 塩谷正雄, 1953: 吹雪密度の垂直分布にたいする一考察. 雪氷, 15, 6-9.
 Takahashi, S., 1985: Estimation of precipitation from drifting snow observations at Mizuho Station in 1982. *Mem. Natl. Inst. Polar Res., Spec. Issue*, 39, 123-131.
 竹内政夫, 石本敬志, 野原他喜男, 1975: 吹雪量と飛雪量垂直分布. 雪氷, 37, 114-120.
 ———, 1980: 吹雪時の視程に関する研究. 土木試験所報告, 74, 1-31.
 ———, 石本敬志, 野原他喜男, 福沢義文, 1986: 降雪時の高い地吹雪の発生限界風速. 昭和61年度

- 日本雪氷学会予稿集.
 Uematsu, T., T. Nakata, K. Takeuchi, Y. Arisawa and Y. Kaneda, 1991: Three-dimensional numerical simulation of snowdrift. *Cold Reg. Sci. Technol.*, 20, 65-73.
 和達清夫監修, 1974: 気象の辞典. 東京堂出版, 704 pp.
 Wakimoto, R.M., 1982: The life cycle of thunderstorm gust fronts as viewed with Doppler radar and rawinsonde data. *Mon. Wea. Rev.*, 110, 1060-1082.
 八木正允, 1985: 冬期の季節風の吹き出し方向に対して, おおよそ直交する方向にロール軸をもつ大規模な雪雲-対流雲の走向についての解析と理論的な検討. 天気, 32, 175-187.

月例会「長期予報と大気大循環」プログラム

本誌6月号でお知らせしました月例会「長期予報と大気大循環」のプログラムが下記のように決まりましたのでお知らせします。なお、プログラム終了後に懇親会を予定しております。

記

- 日時: 1992年10月26日(月) 13:30~17:30
- 場所: 気象庁第一会議室(5F)
- プログラム:
 - セッション1 座長 内野 修(気象研 気象衛星・観測システム)
 - 13:30~14:00 ピナトゥボ噴火後のエアロゾルの粒径分布と放射効果
浅野 正二(気研・気候)
 - 14:00~14:30 GMS リモートセンシングによる成層圏汚染の観測
中島 映至・仙波 秀志(東大・気候システム)
 - セッション2 座長 馬淵 和雄(気象庁・長期予報)
 - 14:30~15:00 エルニーニョと赤道波
和方 吉信(東海大・海洋)

- 15:00~15:30 エルニーニョ現象の観測・監視体制の進展
佐伯 理郎(気象庁・エルニーニョ監視センター)
- 15:30~15:45 休憩
- セッション3 座長 広岡 俊彦(気象大学校)
- 15:45~16:15 熱的条件が2次元対流セルサイズに及ぼす影響
石渡 正樹・竹広 真一・林 祥介(東大・理)
- 16:15~16:45 成層圏の予報解析サイクル導入に関する問題
多田 英夫(気象庁・数値予報)
- 16:45~17:15 積雪データの数値予報モデルへの利用
益子 直文(気象庁・数値予報)
- 17:15~17:30 総合討論

4. 問い合わせ先:

〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4
 気象庁長期予報課 高野清治
 TEL. 03-3212-8341(内線 3158)